

おきなわこどものくにせいびけいかくとうさくていじぎょう

沖縄こどもの国整備計画等策定事業

…約2,000万円

沖縄こどもの国は、県内唯一の本格的な動物園であることから、今後全国的にもユニークな施設へ整備拡充をはかるための調査研究を行います。



たいきじどうたいさくとくべつじぎょう

待機児童対策特別事業

…約2億3,200万円

待機児童（認可保育所に入所できていないこどもたち）の受け皿となっている認可外保育施設を支援することで、認可外保育施設に入所しているこどもたちの福祉の向上を図るための事業です。

主なものとして、認可保育所への移行を目指す施設に対する運営費支援（対象施設を支援することで、認可保育所へ移行することを目的としています）また、児童の健康診断・歯科検診、給食費の補助等を行っています。



おきなわしりつがっこうきゅうしょくひしえんじぎょう

沖縄市立学校給食費支援事業

・・・約2,200万円

市立小・中学校に在籍するこどもが3人以上いる保護者に対し、3人目以降の学校給食費を助成する事業です。こどもが多い家庭にとって経済的負担が大きい学校給食費を助成することで、負担軽減を図り子育て支援を推進することがねらいです。

ようちえんきょういくじゅうじつじぎょう

幼稚園教育充実事業・・・約1,500万円

沖縄市の幼稚園教育の充実を図るため、学校給食の提供に必要な各幼稚園の施設や備品の整備を行います。

平成26年度中に2園のモデル園において、全園児対象に学校給食を提供することにより、こどもたちの心身の健全な発達を促し、元気にたくましく育つ環境を作ります。また、学校給食を生きた教材として活用し、食育を通して地域の食文化を学べる事業を行います。



こどもいりょうひじょせいじぎょう

こども医療費助成事業

・・・約3億2,400万円

こどもたちが元気で丈夫に育つことを願って、保護者が病院で支払う医療費の一部を沖縄市が助成するものです。入院助成の対象は中学卒業までとなっております。通院については、平成26年度中に現行の4歳児から就学前までに拡充します。

こんにちはあかちゃんじぎょう

こんにちは赤ちゃん事業・・・約1,000万円

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、育児に関する様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況、養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげ、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的としています。



ぶっくすたーとじぎょう

ブックスタート事業・・・約700万円

4、5か月児と9、10か月児の赤ちゃんにそれぞれ一冊の絵本をプレゼントし、絵本で楽しく温かなふれあいの時間をもてる子育て支援の一環として実施しています。実施の際はブックスタート支援員が保護者と赤ちゃんに複数の絵本を紹介し、読み方のコツや選ぶときのアドバイスなども行ないます。乳幼児健診と同時に実施しており、「健診で赤ちゃんの体の健康を、ブックスタートで心の健康を」と取り組んでいます。



こくさいこうりゅうじぎょう

国際交流事業・・・約3,000万円

外国人市民との交流や海外とのウチナンチュネットワークの構築、国際性をもった人材の育成を目的とした事業です。

多言語による外国人市民の生活相談や外国人市民と日本人市民の交流の拠点としてコザインターナショナルプラザ（KIP）の運営を行っています。コザインターナショナルプラザでは、その他にも語学講座や国際交流サロン、外国人市民が日本人と気軽に交流しながら、日本語を学べる「ゆんたく交流会」等の事業を行っています。

また、沖縄市では海外姉妹都市であるワシントン州レイクウッド市の大学・短期大学へ通う留学生への助成も行っています。また、沖縄市出身で海外へ移住した方の三世、四世等を研修生として受入れ、幅広く沖縄の文化を学ぶ研修制度や、海外移住者の多い国へ沖縄の文化芸能指導者を派遣し現地にて指導も行います。



なかのまちしょうがっこうしんそうかいちくじぎょう

中の町小学校新增改築事業

…約12億円

中の町小学校の体育館・校舎は昭和43年から昭和56年に建設され、とても古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、子どもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建て替えられることになりました。

・平成26年～平成27年：建設工事

新しい校舎は平成28年4月から新しい学校でのスタートを予定しています。

